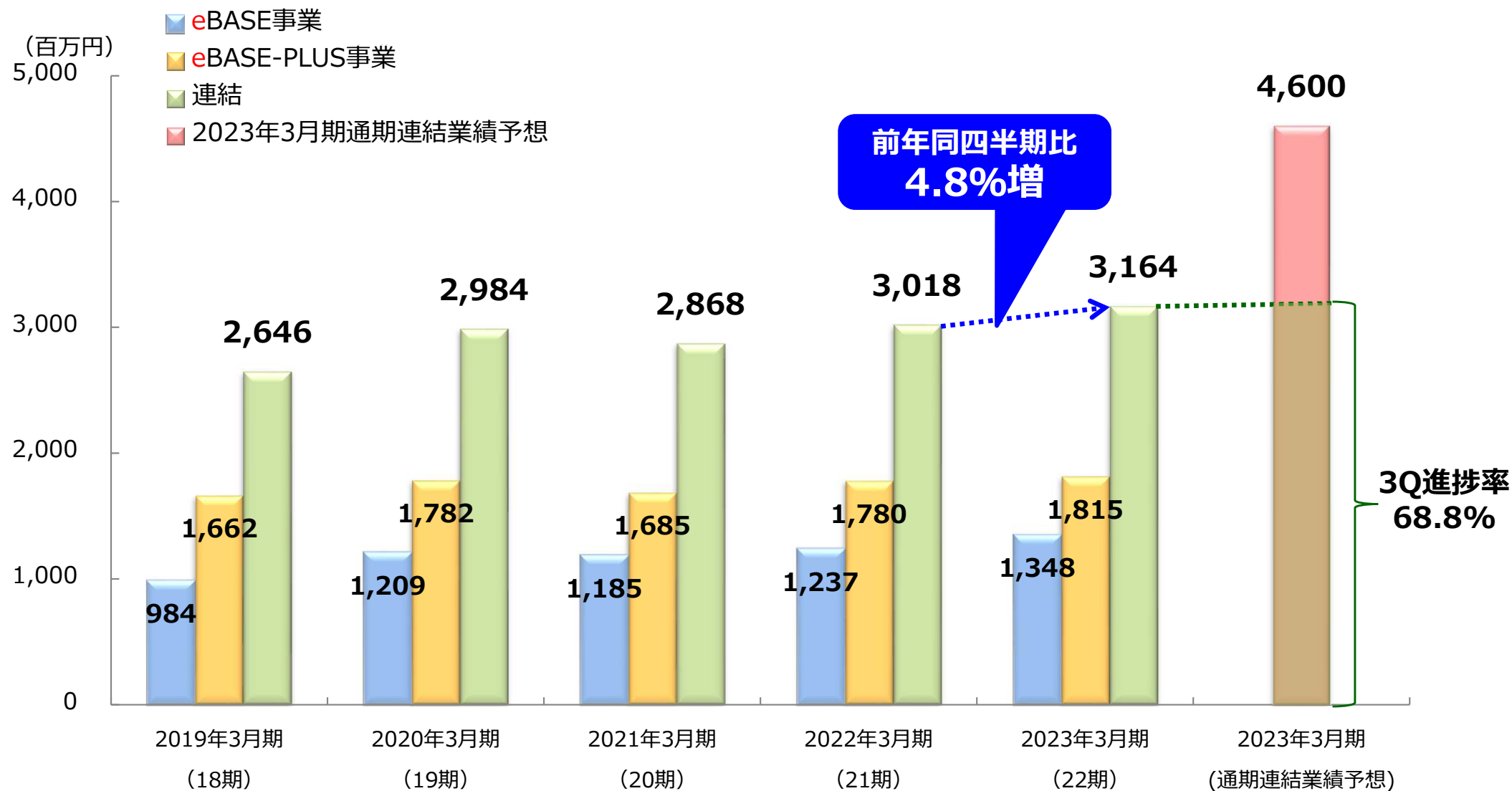


eBASE株式会社 2023年3月期 第3四半期決算と事業報告

証券コード：3835

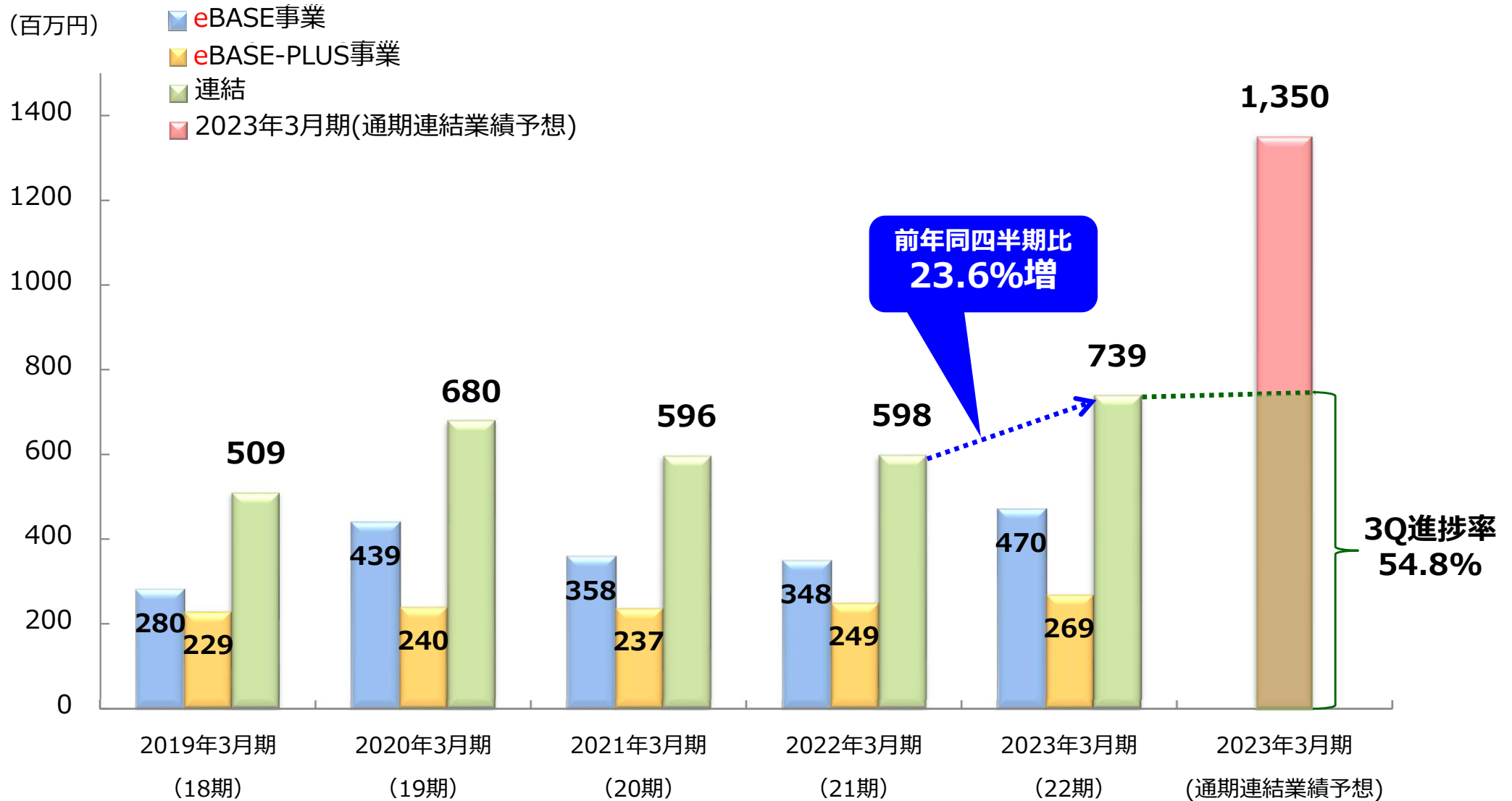
※増減率は1円単位で表示された数字で計算しております。

第3四半期決算 連結売上高の推移



注1) セグメント間取引については、相殺消去しております

第3四半期決算 連結経常利益の推移



注1) セグメント間取引については、相殺消去しております

第3四半期決算 連結業績・連結貸借対照表の推移

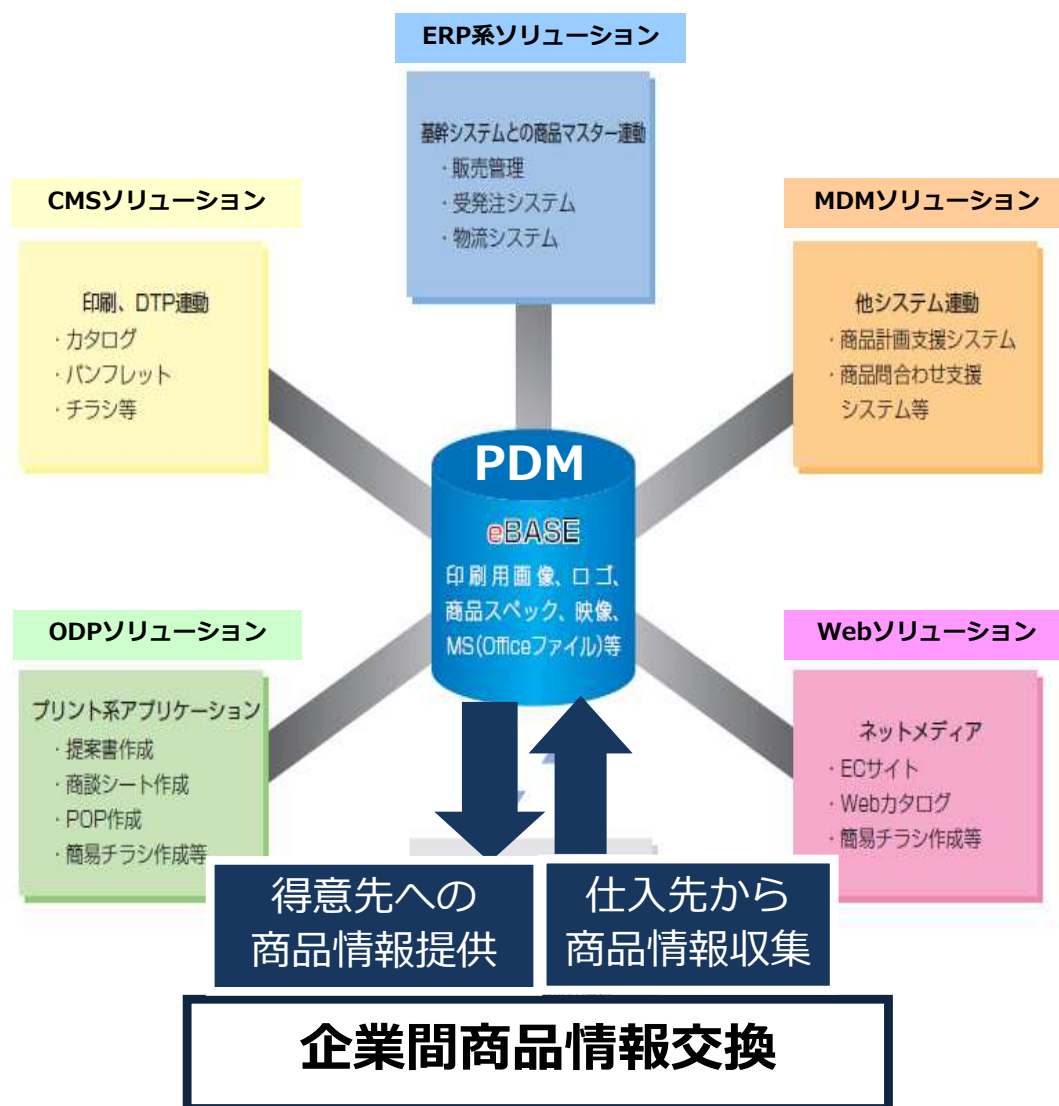
(単位：百万円)

	2019年3月期 (第18期)	2020年3月期 (第19期)	2021年3月期 (第20期)	2022年3月期 (第21期)	2023年3月期 (第22期)
売 上 高 (eBASE事業) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	2,646 (984) (1,670) (△8)	2,984 (1,209) (1,782) (△7)	2,868 (1,185) (1,685) (△2)	3,018 (1,237) (1,782) (△2)	3,164 (1,348) (1,817) (△1)
営業利益	487	652	575	598	714
経常利益 (eBASE事業) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	509 (280) (230) (△1)	680 (439) (240) (0)	596 (358) (237) (0)	598 (348) (249) (0)	739 (470) (269) (0)
親会社株主に帰属する 当期純利益	348	464	409	410	504

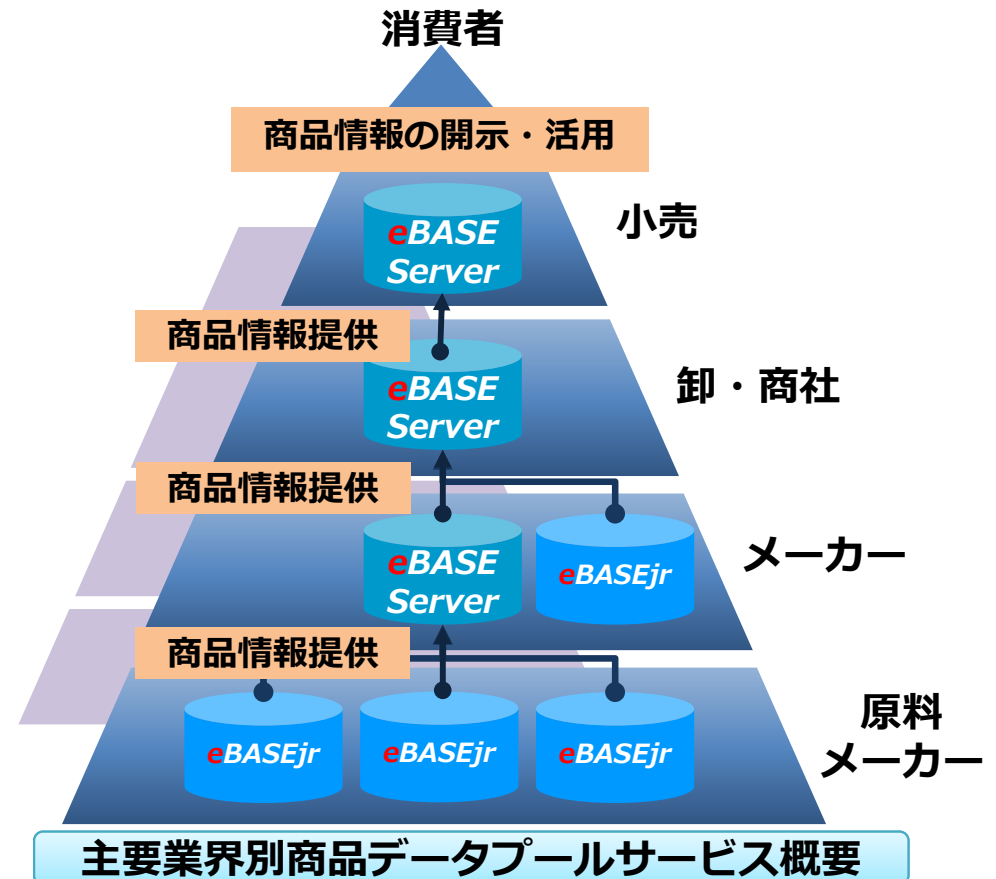
	前期 (2022年3月末)	当期 (2022年12月末)	前期末比	
流動資産	4,963	5,002	38	受取手形及び売掛金及び契約資産+158、有価証券△135
固定資産	1,342	1,396	53	
(有形+無形資産)	(135)	(188)	(53)	
(その他)	(1,207)	(1,207)	0	
資産合計	6,306	6,398	92	
流動負債	455	479	24	
負債合計	460	479	19	
株主資本合計	5,778	5,867	89	利益剰余金+237 (配当金支払△267) (親会社株主に帰属する四半期純利益の計上+504) 自己株式の取得△148
新株予約権	11	12	0	
純資産合計	5,845	5,918	72	
負債・純資産合計	6,306	6,398	92	

eBASE事業概況 (BtoBモデル)

統合商品データベースeBASE概要



業界別の商品情報交換サービス概要



eBASE事業のビジネスシナリオの経緯と現状 (1st eBASE)

◆ミドルウェアeBASE システム開発の圧倒的効率化

コア コンピタンス

◆業界別商品情報交換標準化

食材、日雑(日用品、雑貨)、家電、住宅、医薬、
工具、カー用品、スポーツ用品、文具、……



ビジネスモデル

BtoB
モデル

◆業界別商品情報交換の 全体最適化 生産性向上

推進戦略

◆商品情報データプールサービス

「商材えびす」

食材えびす、レシピえびす、日雑えびす、
家電えびす、住宅えびす、OTCえびす、
文具えびす、工具えびす、カー用品えびす、
スポーツ用品えびす、マスターデータえびす ……

BtoBサービス関連特許
第7138289号

プロダクト/マネタイズ

◆業界別 統合商品DB パッケージソフト販売

FOODS eBASE/食の安全情報管理システム
RECIPE eBASE/料理レシピ情報管理システム
GOODS eBASE/日雑商品情報管理システム
MDM eBASE/マスターデータマネジメント
PDM eBASE/新製品企画情報管理システム
……

2nd eBASE コンテンツビジネス展開

eBASE事業の中長期戦略 (2nd eBASE)

◆業界別商品情報データベースサービス 「商材えびす」

コア コンピタンス

◆OMO/CX/DX推進

ビジネスモデル

小売企業(B)

消費者向けアプリ採用

販促(B)効果増

採用小売が
普及促進
(BtoC)

消費者 (C)
ユーザー増

BtoBtoC
モデル

◆エコシステム

推進戦略

Only One → 商材えびす活用
企画力 → 特許+先行逃げ切り
超安価 → MWeBASE+多業界共通

プロダクト/マネタイズ

◆OMO/CX/DX推進の消費者向けアプリ

e食住なび、e食住ちらし、e食住カタログ、
e食なび、e食くいず、e食れしび、e住なび …

3rd eBASE PersonalProfileビジネス展開

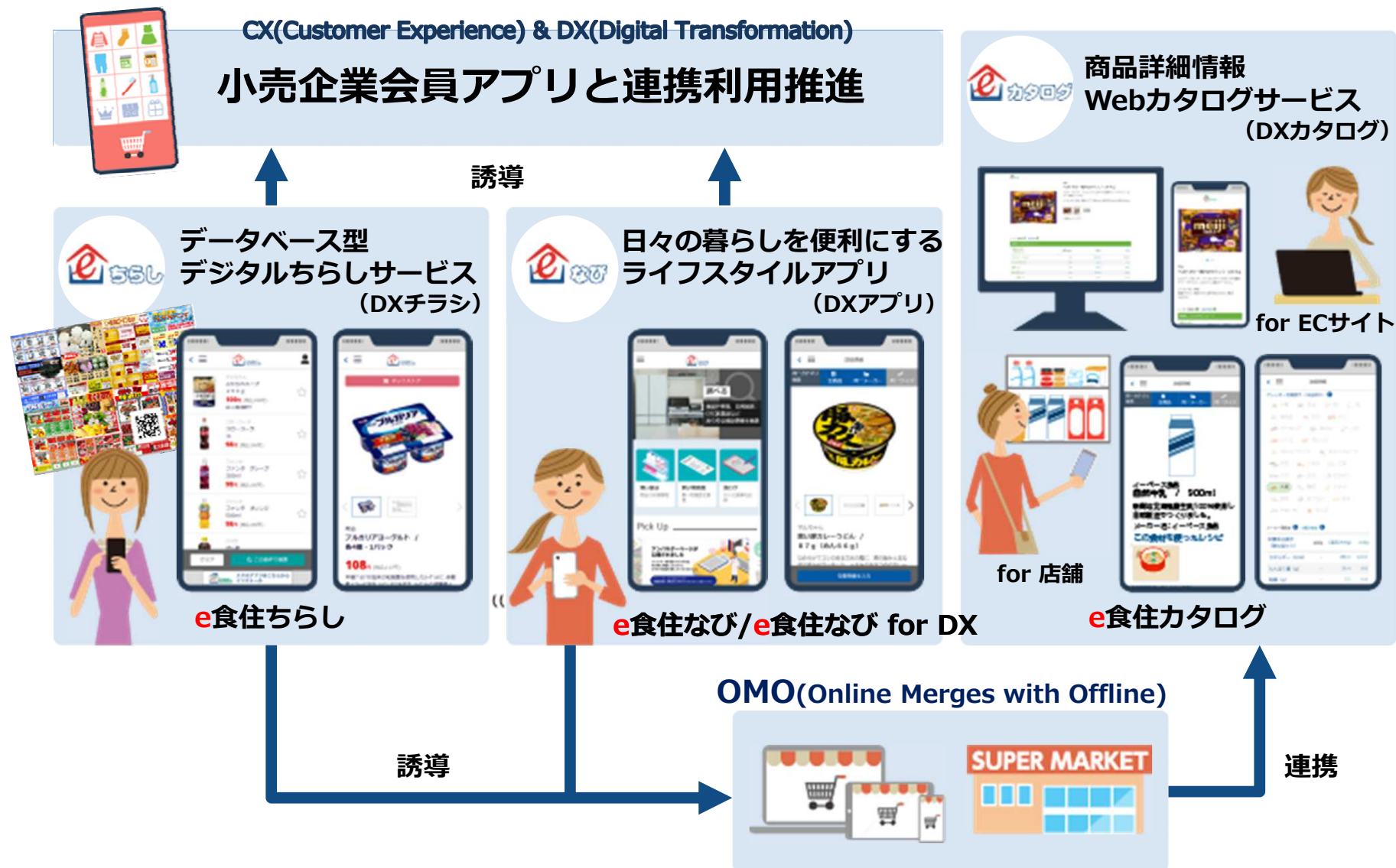
BtoBtoCサービス関連特許

特許第6758734号
特許第6807105号
特許第6943382号

特許第6798741号
特許第6820016号
特許第7024952号……

あらゆる商品カテゴリを統合した消費者向けライフスタイルアプリ「e食住なび」 (2nd eBASE)

圧倒的にコストパフォーマンス高く、OMOで小売業のCX向上とDX支援！



「e食住ちらし：特許第6943382号」「e食れしび：特許第7198461号、特許第6758734号、特許第7089251号」「e食住なび：特許第7089252号」

住生活系の販促DX&OMO推進「e住なび」(2nd eBASE)

My設備を設備DBから検索・登録



ハウスメーカーが、新築設備は、登録済！

我家の設備マニュアルが直ぐに探せる！

後で、購入した家電も、検索、追加登録できる！自動登録して欲しい！

購入レシート、保証書も撮影、管理できる。

購入予定の家電チェック商品情報、取説、パンフ

My設備一覧



商品情報



マニュアル



検索

My設備

設備DB

商品情報/マニュアル
+パンフレット

- ・住宅設備、建材
- ・家電製品、工具、etc

マニュアルを頁めくりで閲覧！
スマホでは少し小さいが..
PC,タブレットなら見易い！

マニュアル内文字検索が
できるので、探し易い！

商品スペックも簡単に
確認できる



家電えびず

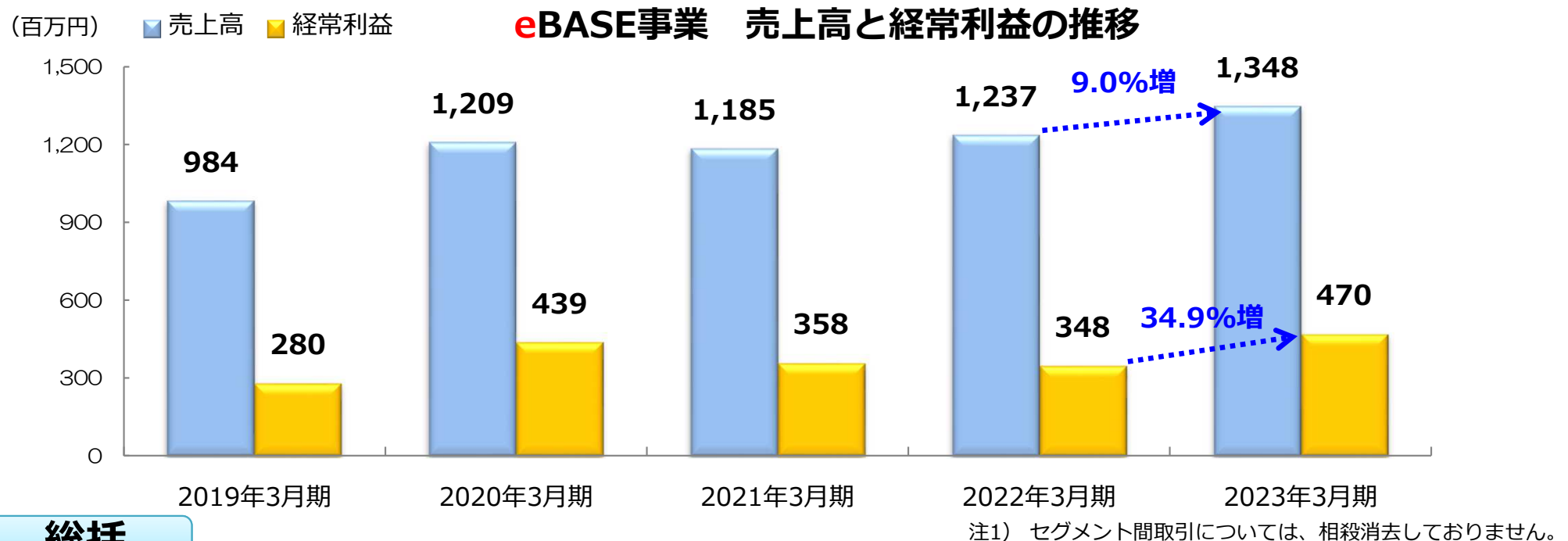
住宅えびず

小売企業・ハウスメーカー
eBASE

「e住なび：特許第7024952号」

第3四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

eBASE事業（パッケージソフトビジネス）

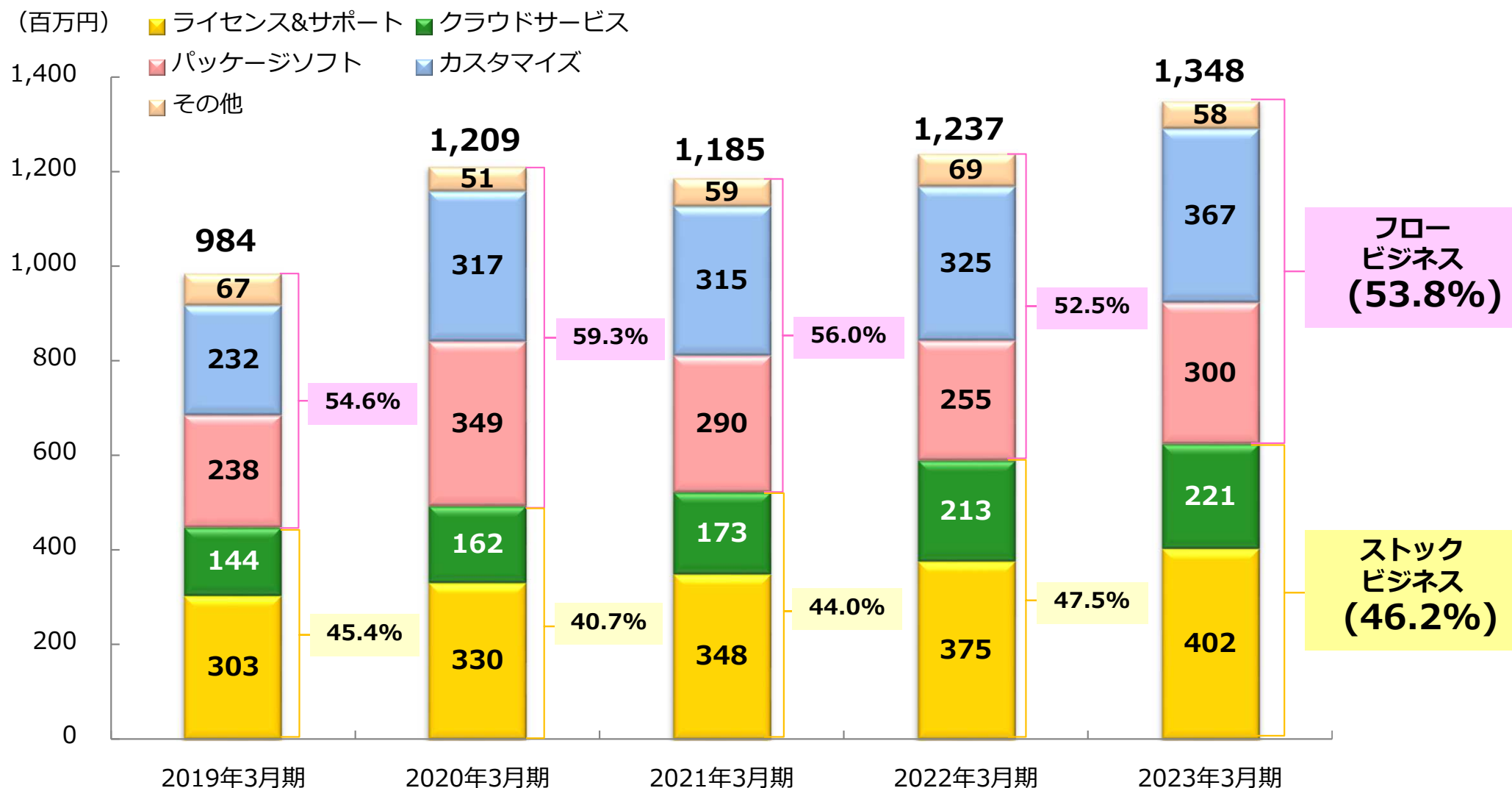


総括

- ・あらゆる商品カテゴリを統合した消費者向けライフスタイルアプリ「e食住なび」を開発リリース
- ・食品業界では、大手コンビニエンスストアの「FOODS eBASE」、及び製品企画開発支援システム「PDM eBASE」を大型案件として売上計上
- ・複数の大手総合小売業からのアップセル大型案件や、継続案件を売上計上
- ・日雑業界では、既存顧客のドラッグストアや衣料品小売、切削工具メーカーから大型案件を売上計上
- ・オフィス家具メーカーの商品DB型Webカタログサイトも継続大型案件として売上計上
- ・住宅業界では、大手ハウスメーカーに対して「e住なび」が順調に普及展開
- ・大手建材メーカーで「eBASE」を活用した統合商品情報DB構築の大型案件を継続受注し、売上計上
- ・異なる業界を横断して複数の小売会員間で商品マスタデータを共有するサービス「マスタデータえびず」関連特許（第7138289号）を取得

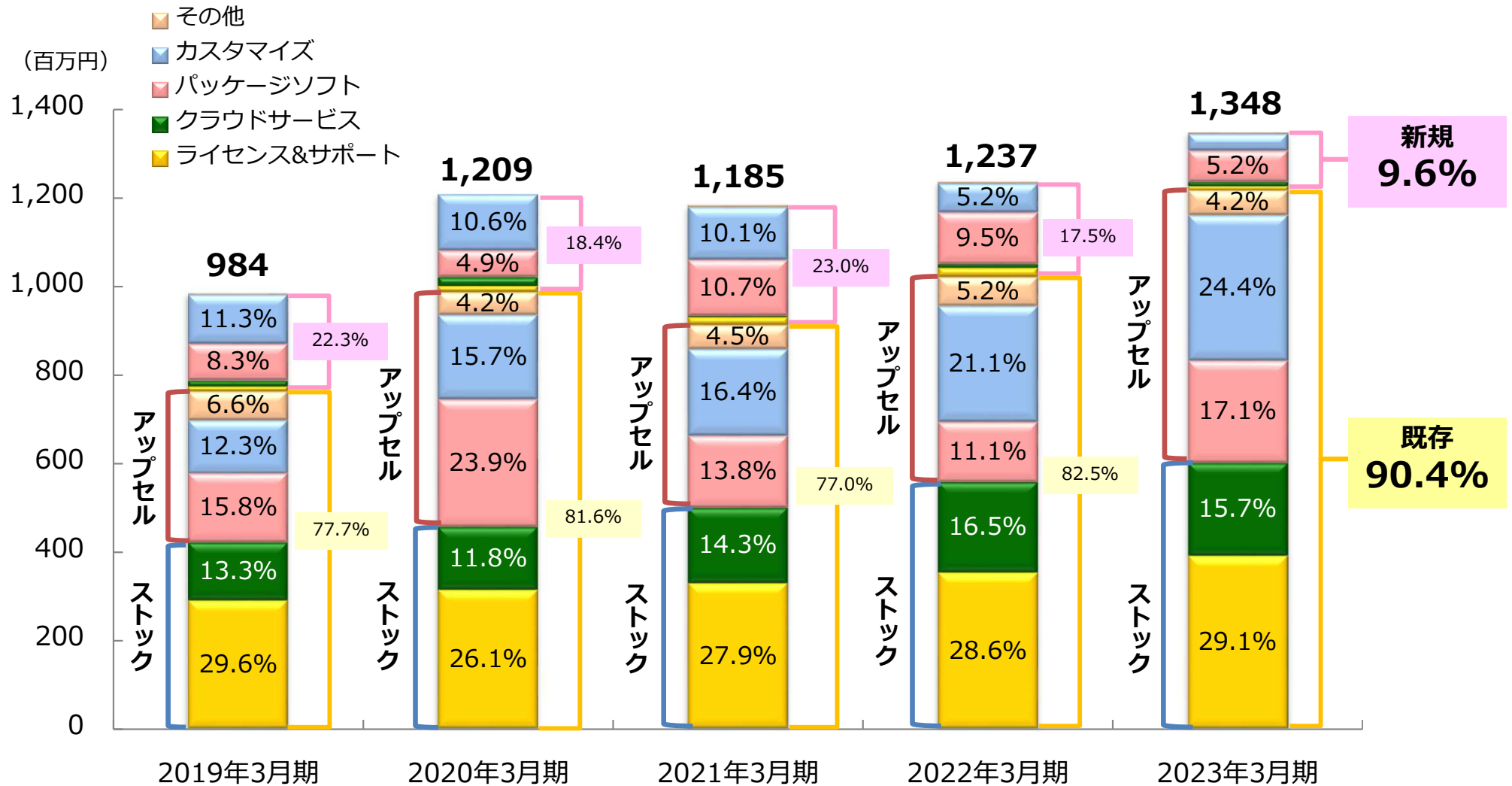
第3四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

種類別販売実績の推移



第3四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

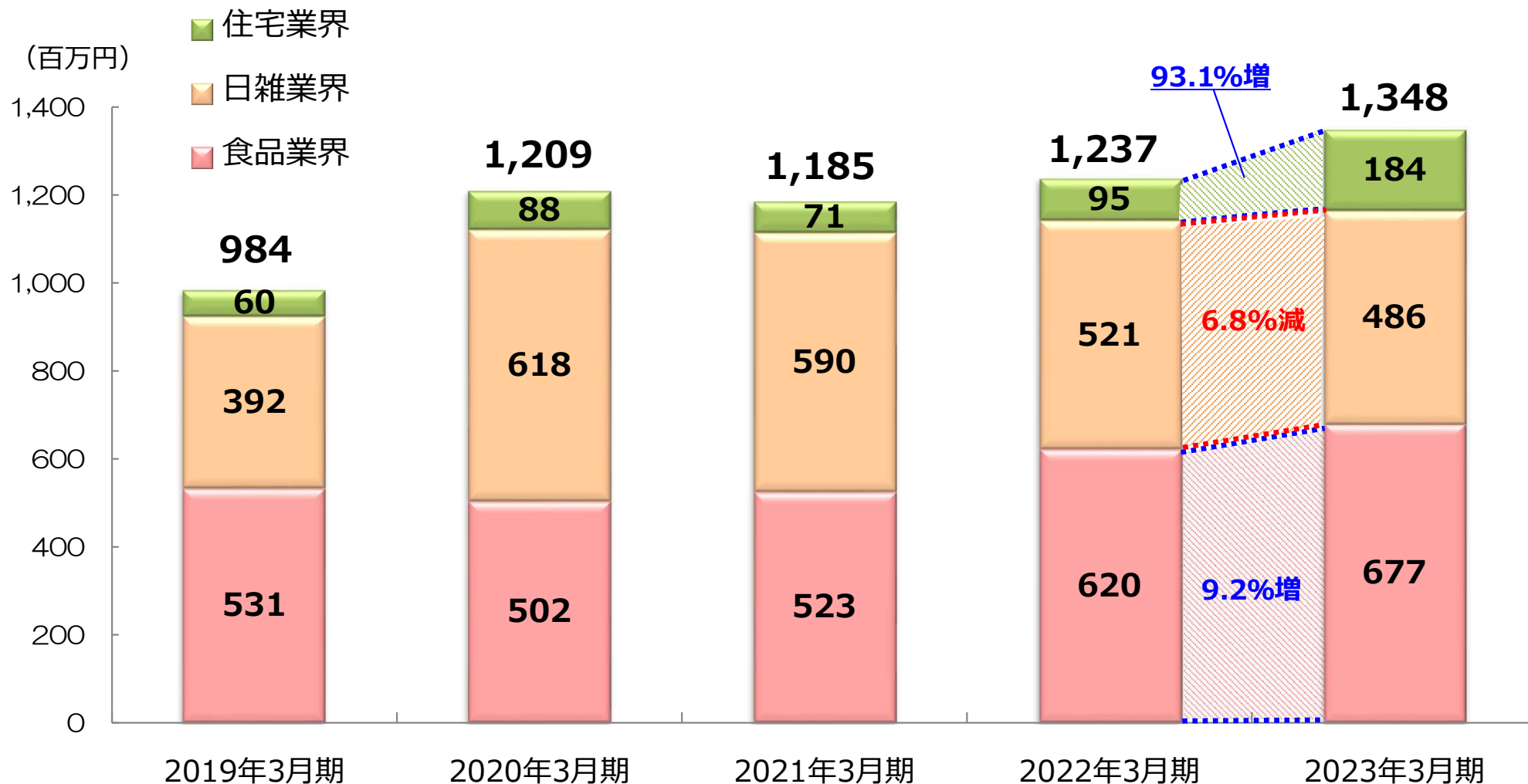
新規・既存別販売実績の推移



注1) 3%未満の数字は記載を省略しております。

第3四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

業界別売上実績の推移



注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表しております。

第3四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

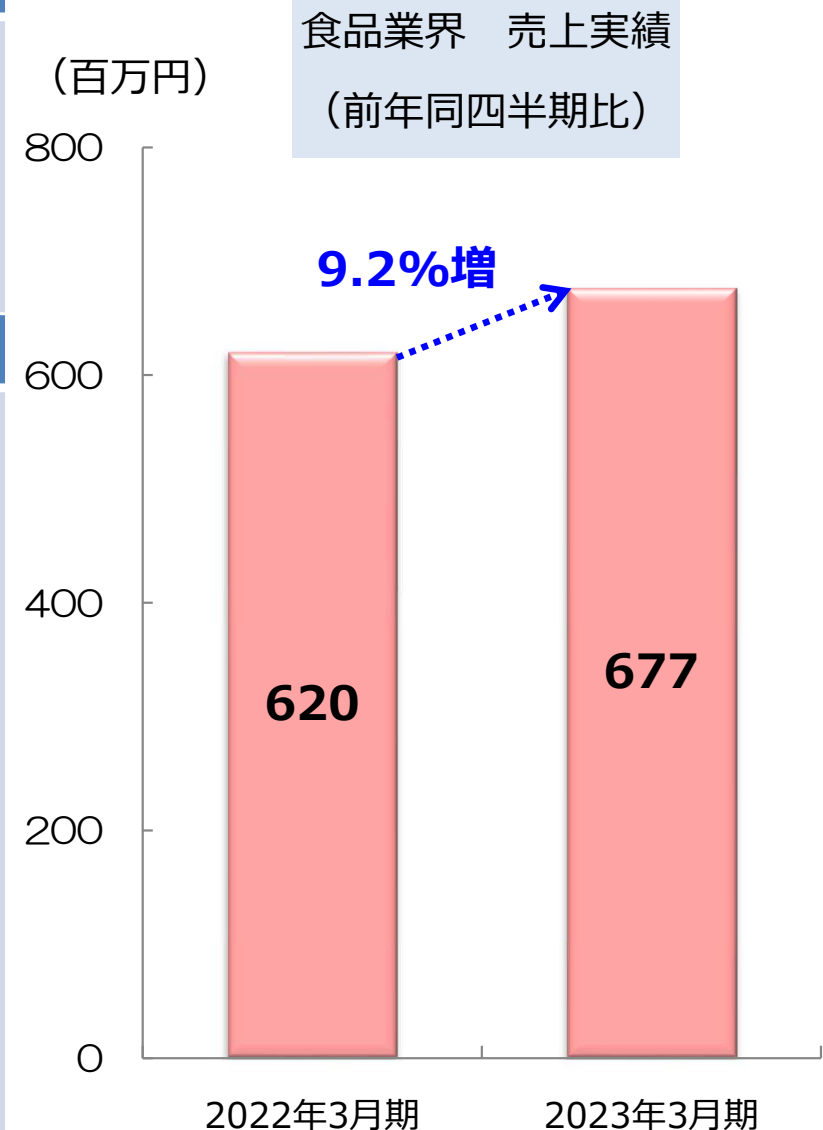
食品業界 今期施策とその進捗

2023年3月期 施策

- ・現事業モデル「FOODSeBASE」の継続推進
- ・商品データプールサービス「食材えびす」のデファクト化継続推進と販促強化
- ・消費者向けスマホアプリ(e食なび等)によるBtoBtoCモデル推進
- ・特許戦略に基づく各種新サービスの開発

その進捗

- ・売上実績(3Q累計): 677百万円
- <BtoBtoCモデル>
- ・「e食なび」、「e食カタログ」、「e食暮らし」の普及推進と営業展開を積極的に継続 → 「e食住なび」系に統合化
- <BtoBモデル>
- ・大手コンビニエンスストアの「FOODS eBASE」、及び製品企画開発支援システム「PDM eBASE」を売上計上
 - ・複数の大手総合小売業からのアップセル大型案件や、継続案件を売上計上
 - ・大手スーパーから「MDM eBASE」のアップセル大型案件を受注
 - ・食品加工メーカーからも継続案件を受注
 - ・老舗の漬物食品加工メーカーのレシピシステムを一部売上計上
 - ・大手回転寿司チェーン企業、大手ファストフードチェーン企業から「FOODS eBASE」を受注
 - ・売上高は、第4四半期に予定の大型案件の検収の進捗が早まったことにより、前年同四半期比で増加



第3四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

日雑業界 今期施策とその進捗

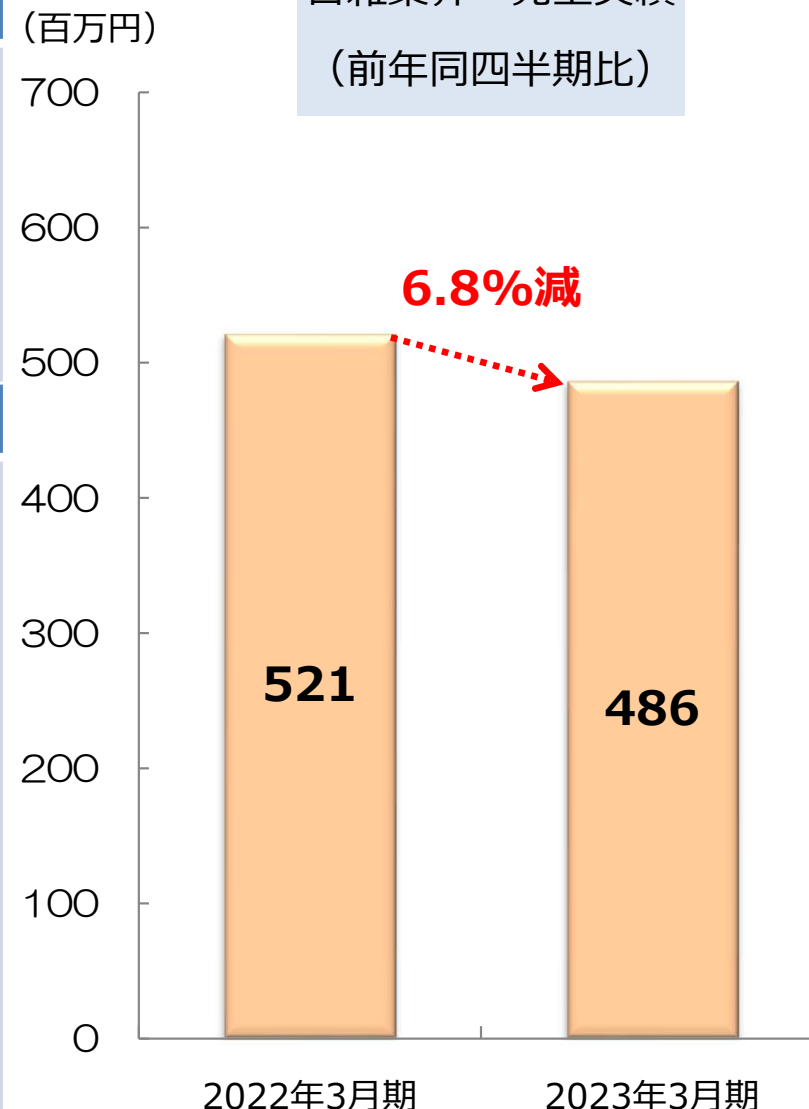
2023年3月期 施策

- ・日雑業界（ドラッグストア業界、ホームセンター業界、文具業界、スポーツ用品業界、カー用品業界、通販業界等）で商品情報交換環境の全体最適化を推進
- ・商品データプールサービス「日雑えびす」を中心に「商材えびす」の販促を推進
- ・顧客企業のカスタマイズ型統合商品DB受託開発の推進
- ・消費者向けスマホアプリ「e食住なび」によるBtoBtoCモデル推進

その進捗

- ・売上実績（3Q累計）：486百万円
- ＜BtoBtoCモデル＞
- ・あらゆる商品カテゴリを統合した消費者向けライフスタイルアプリ「e食住なび」を新たに開発リリース
 - ・特定企業向けに簡易カスタマイズで短納期、且つ、安価な専用バージョン「e食住なび for DX」の提供を開始
- ＜BtoBモデル＞
- ・既存顧客のドラッグストアや衣料品小売、切削工具メーカーから大型案件を売上計上
 - ・オフィス家具メーカーの商品DB型Webカタログサイトを継続大型案件として売上計上
 - ・DIY関連の卸・メーカー、既存顧客のオフィス家具メーカー、大手ホームセンター、精密測定機器総合商社から受注
 - ・売上高は、部分検収時期の都合により、前年同四半期比で減少

日雑業界 売上実績
(前年同四半期比)



第3四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

住宅業界 今期施策とその進捗

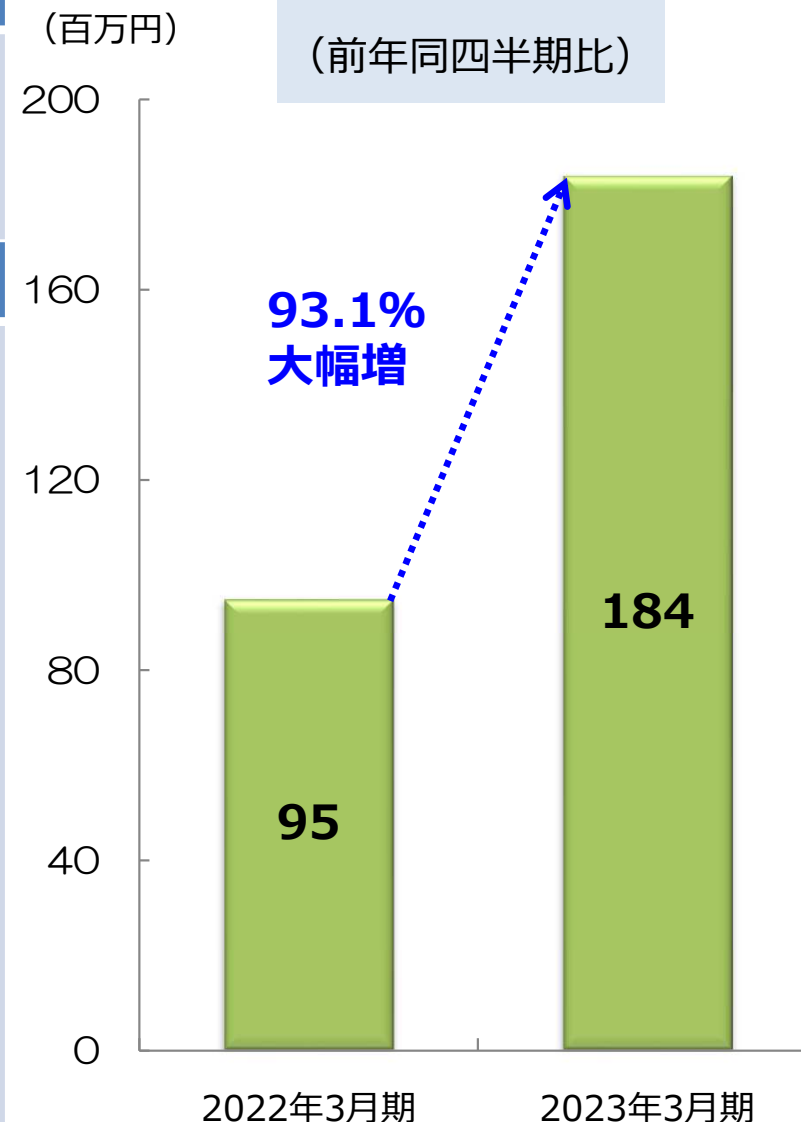
2023年3月期 施策

- ・商品データプールサービス「住宅えびす」のデファクト化推進
- ・顧客企業のカスタマイズ型統合商品DBの受託開発の推進
- ・施主向けスマホアプリ「e住なび」によるBtoBtoCモデル推進

その進捗

- ・売上実績（3Q累計）：184百万円
- ＜BtoBtoCモデル＞
- ・既存顧客の大手ハウスメーカーから「e住なび」を利用した施主への取扱説明書データ開示環境構築のアップセル大型案件を新規受注
 - ・先行運用している大手ハウスメーカーでは「住宅えびす」と「e住なび」の施主向け取説開示運用が順調に推移し、登録数の当初目標を達成
- ＜BtoBモデル＞
- ・大手建材メーカーの大型の継続案件を売上計上
 - ・外構製品を中心とした大手住設建材メーカーで、商品DB型WEBカタログ構築を受注
 - ・床材・壁材製品を中心とした大手建材メーカーの統合商品情報DB構築も受注
 - ・売上高は、前年同四半期比で大幅に増加

住宅業界 売上実績
(前年同四半期比)



eBASE-PLUS事業概況

eBASE社や顧客企業からの受託開発、受託オペレーション、受託サーバー保守等の
「IT開発アウトソーシングビジネス」

◆システムソリューション

①ソフトウェア開発

企画・分析・設計・構築・導入・運用管理・保守をサポート。

②インフラ構築

サーバー、クライアント環境構築業務をサポート。

◆サポートサービス

①統合運用管理

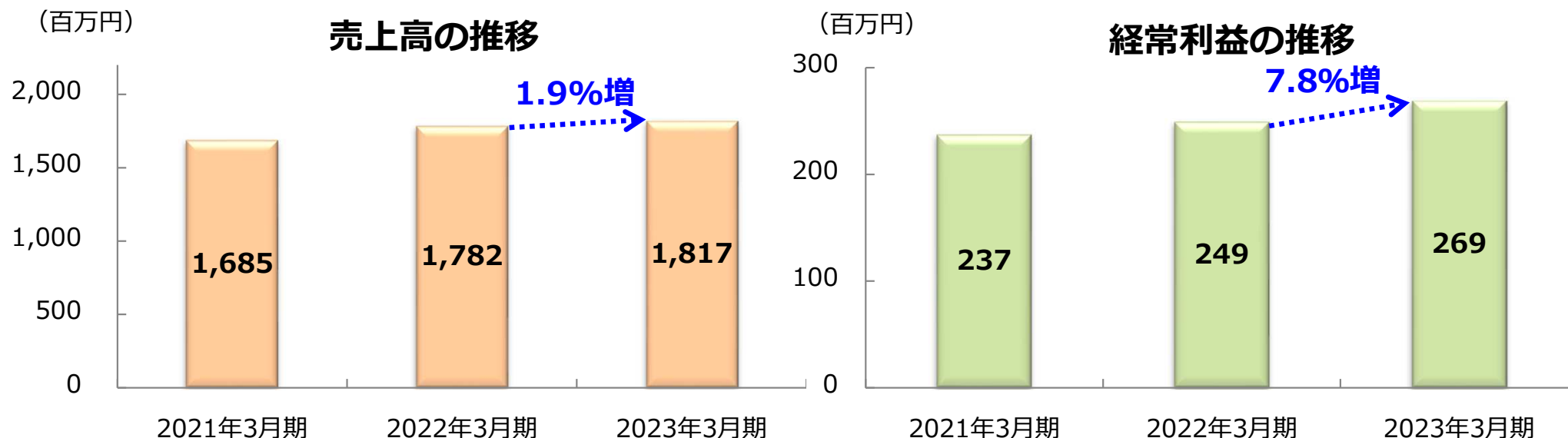
ITシステムの運用をサポート。

②ヘルプデスク

1次対応から技術スキルを要する2次対応までのヘルプデスク。

第3四半期決算セグメント毎の概況/ eBASE-PLUS 事業

eBASE-PLUS事業（IT開発アウトソーシングビジネス）



注1) セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

総括

2023年3月期 施策

- ・ 既存IT開発アウトソーシングビジネスの維持
- ・ 安定衰退モデルから低成長モデルへの転換策検討
- ・ eBASEビジネスとの連携
- ・ 人材の新規採用の継続及び育成
- ・ 優良M&A案件の推進

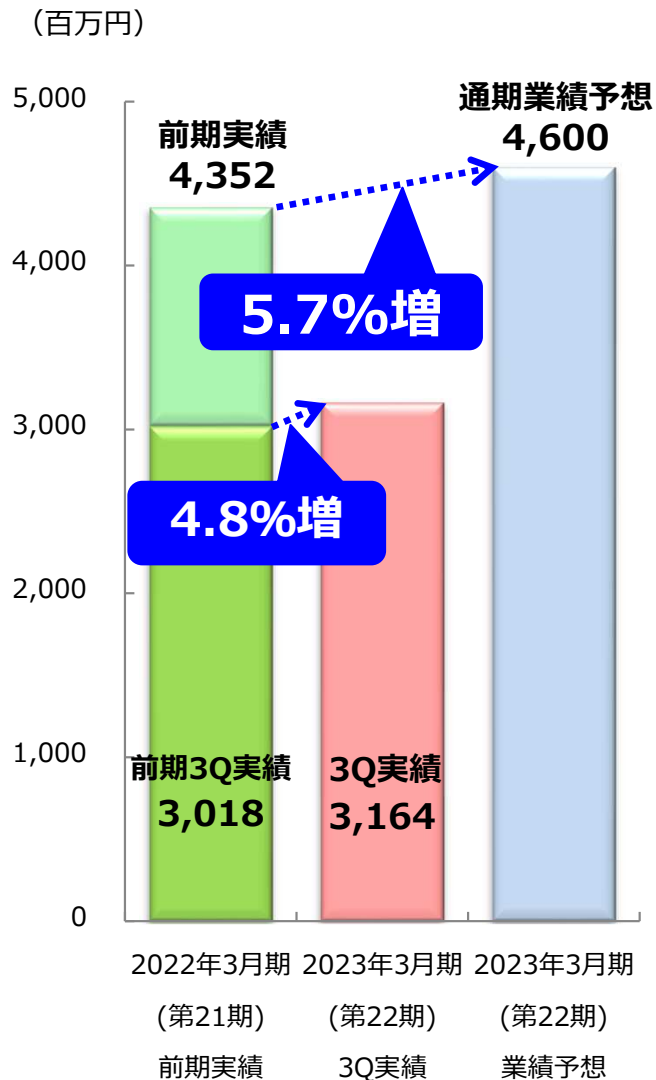
その進捗

- ・ 売上実績（3Q累計）：1,817百万円(増収)
- ・ 利益実績（3Q累計）：269百万円(増益)
- ・ 顧客ニーズに沿った案件獲得に注力
- ・ 急激なインフレ時代に対応した顧客との単価交渉を継続実施
- ・ 既存社員の教育に注力して、スキルアップによるハイスキルな高単価案件へのシフトを図る
- ・ 売上高は、概ね計画通りに推移

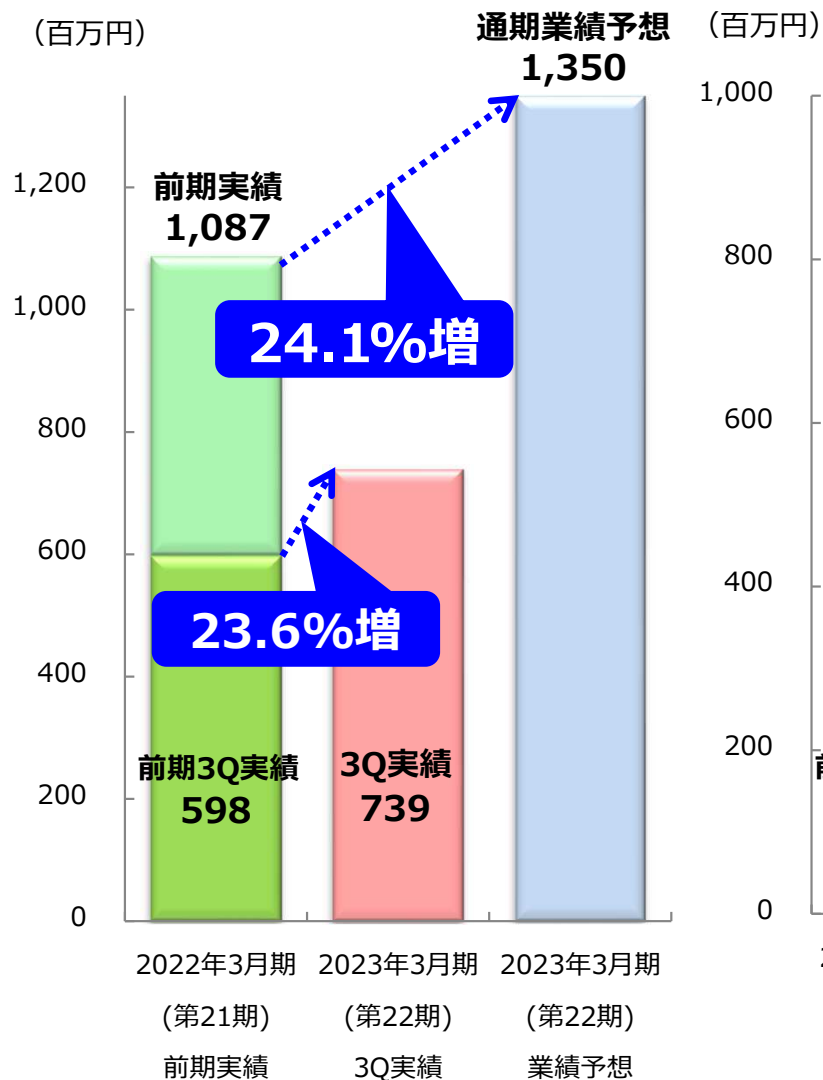
2023年3月期の連結業績予想

■ 2022年3月期（3Q実績） ■ 2022年3月期（通期実績） ■ 2023年3月期（3Q実績） ■ 2023年3月期（通期業績予想）

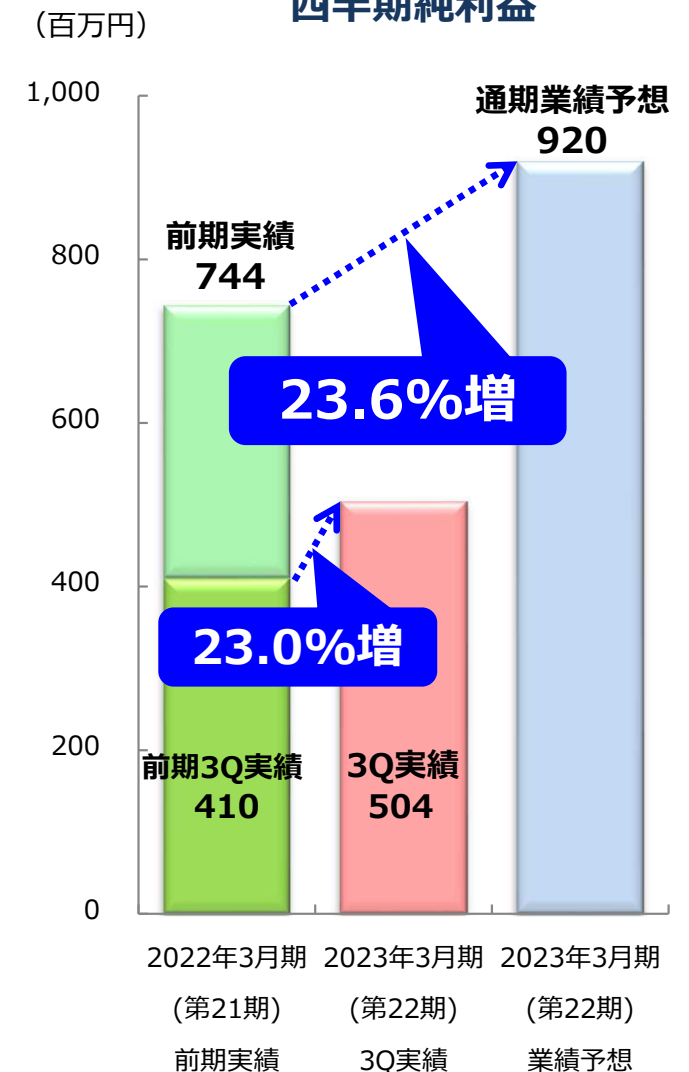
売上高



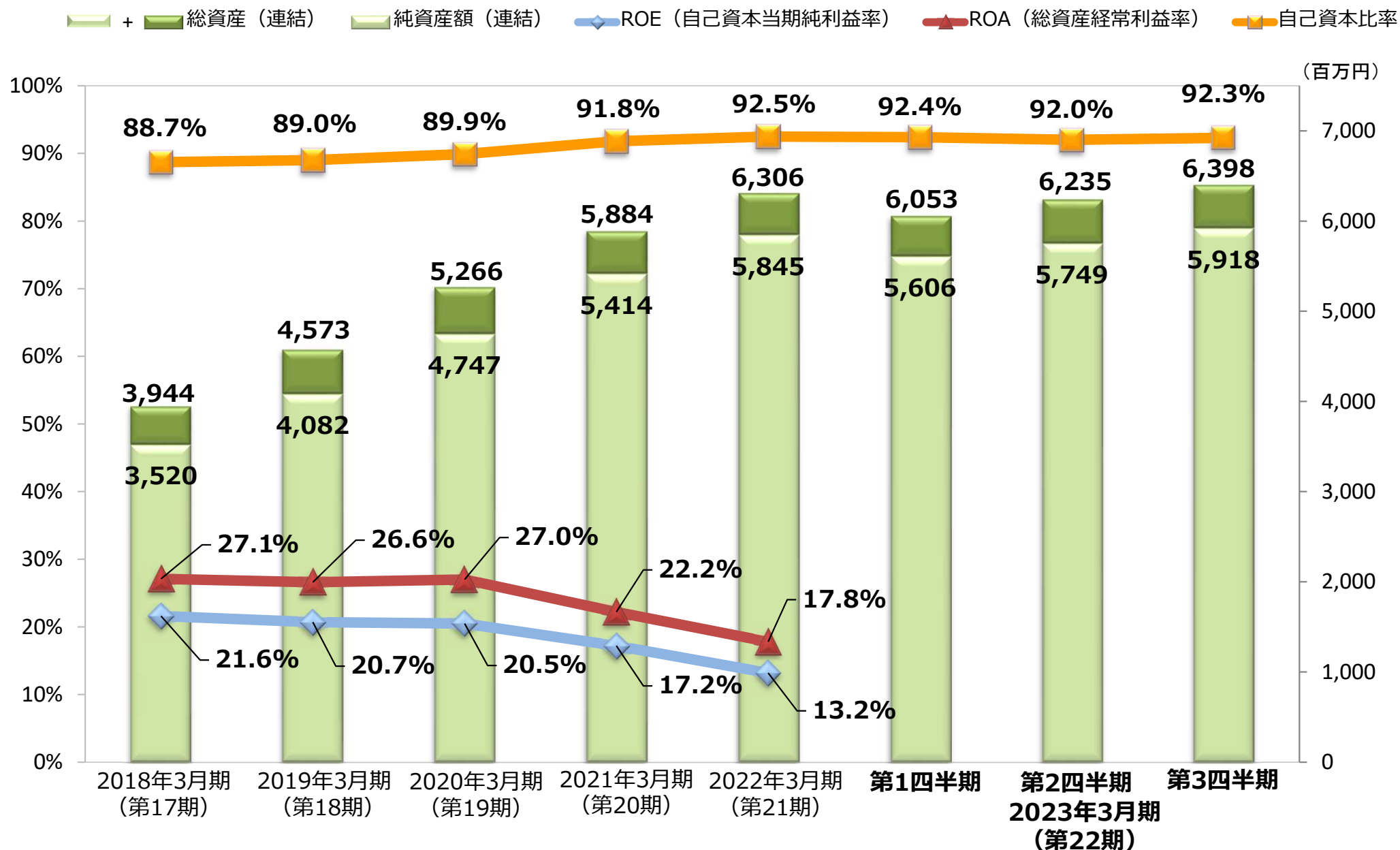
経常利益



親会社株主に帰属する 四半期純利益



資本状況(ROE及びROA等)の推移



本資料お取り扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IRに関するお問い合わせは、弊社HPの
「IRに関するお問い合わせ」フォームよりお願い致します。